

平成 15 年度 教育研修部会の活動報告

部会長: 中村博生¹⁾ 部会員: 田中キミ子²⁾, 佐々木美佐子³⁾, 深澤佳代子⁴⁾, 堀良子⁵⁾

1) 新潟県立看護大学(情報科学), 2) // (老年看護学), 3) // (地域看護学),
4) // (成人看護学Ⅱ), 5) // (実践基礎看護学)

A Report of Continuing Education Programs on Health Promotion by NIRIN in 2003

Nakamura Hiroki¹⁾, Tanaka Kimiko¹⁾, Sasaki Misako¹⁾, Fukasawa Kayoko¹⁾, Hori Ryoko¹⁾

1) Niigata College of Nursing(Information Science), 2) // (Gerontological Nursing),
3) // (Community Health Nursing), 4) // (Adult Health Nursing- Acute Care Division),
5) // (Nursing Art Practice in Nursing Skill)

I. 活動の目的と内容

教育研修部会の活動の目的は、県民の保健・医療・福祉の質の向上に貢献することを目指して、看護の視点を中心とした講座を県民のニーズに応じて開講することである。活動内容は、看護研究交流センター生涯学習支援事業の計画立案、実施である。生涯学習支援事業は、県民を対象とした一般公開講座、看護職者を対象とした専門講座、地域に出向いて開講する出前講座や研修会支援からなる。

II. 平成 15 年度生涯学習支援事業

1. 一般公開講座

1) 概要

開学2周年記念講演では、学外から招いた講師による講演と、学内の教員とによる対論を開催した。県民や看護職員、学生の地域に根ざした看護についての興味・関心の充足を目的としたものであった。また、「看護とジェンダー」と「サクセスフル・エイジングへの挑戦」という2種類のテーマに沿った、学内外の講師による講演をそれぞれ5回シリーズで開催した。県民が講演を聞きまた講師との話し合いやグループ・ワーク、エクササイズを行うことを通して、明るく健やかに人生を過ごす糧となるような知識や技術を習得していただく機会として設定した。

2) 開講講座

(1) 新潟県立看護大学開学2周年記念講演と対論(参加人数:219名)

- ・日時:平成15年7月26日(月)13:00~15:30
- ・場所:新潟県立看護大学 ホール
- ・講師:南 裕子 兵庫県立看護大学学長
- ・講演テーマ:地域に根ざした看護の発展をめざして
- ・対論テーマ:地域に根ざした看護の発展をめざして
- ・対論者: 南 裕子 兵庫県立看護大学学長
中島紀恵子 新潟県立看護大学学長

(2) 看護とジェンダー (5回シリーズ)

第1回(参加人数:23名)

- ・日時:平成15年7月12日(土)13:00~14:30
- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:加納尚美 茨城県立医療大学助教授
- ・講演テーマ:性暴力被害者と看護ケア

第2回 (参加人数:23名)

- ・日時:平成15年7月12日(土)14:40~16:10
- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:朝倉京子 新潟県立看護大学助教授
- ・講演テーマ:ケアの原理とジェンダー

第3回 (参加人数:27名)

- ・日時:平成15年8月30日(土)13:00~14:30
- ・場所:新潟県立看護大学 多目的ホール
- ・講師:小林恵子 新潟県立看護大学講師
- ・講演テーマ:子供の虐待はなぜ起こる

第4回 (参加人数:27名)

- ・日時:平成15年8月30日(土)14:40~16:10
- ・場所:新潟県立看護大学 多目的ホール
- ・講師:水口陽子 新潟県立看護大学講師
- ・講演テーマ:ナイチンゲールの看護観と女性

第5回 (参加人数:14名)

- ・日時:平成15年9月27日(土)13:30~15:30
- ・場所:新潟県立看護大学 多目的ホール
- ・講師:柘植あづみ 明治学院大学教授
- ・講演テーマ:女性の視点からみた生殖技術

(3)エルダリィ・スクール「サクセスフル・エイジングへの挑戦」(5回シリーズ)

第1回 (参加人数:41名)

- ・日時:平成15年10月4日(土)13:00~15:00
- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:田中キミ子 新潟県立看護大学教授
- ・講演テーマ:からだを自己点検するコツとワザ

第2回 (参加人数:32名)

- ・日時:平成15年10月18日(土)13:00~15:00
- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:清水富弘 上越教育大学助教授
- ・講演テーマ:長寿のための食事学

第3回 (参加人数:28名)

- ・日時:平成15年11月8日(土)13:00~15:00
- ・場所:新潟県立看護大学 多目的ホール
- ・講師:澁谷房子 日本ランポビクス協会新潟県支部常任理事
林 従子 日本ランポビクス協会新潟県支部長
- ・講演テーマ:楽しい体力維持の戦略

第4回 (参加人数:38名)

- ・日時:平成15年11月29日(土)13:00~15:00
- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:北川公子 新潟県立看護大学助教授
- ・講演テーマ:物忘れをふせぐ戦略

第5回 (参加人数:48名)

- ・日時:平成15年12月13日(土)13:00~15:00

- ・場所:新潟県立看護大学 第2ホール
- ・講師:中島紀恵子 新潟県立看護大学学長
- ・講演テーマ:もしもに備えて～介護が必要になったとき

2. 専門講座

1) 概要

講座「看護研究の基礎知識」は、看護職者が日常の業務の中で、看護に関する研究テーマを掘り起こしたり、研究計画を立てたり、さらには研究を進める上での倫理的配慮、研究方法、あるいは論文の書き方などを習得していただく機会として開設された。また、英語を話す患者と英語でコミュニケーションができることを目的とした看護英会話の講座と、看護情報処理をより効率的に行えることを目的とした看護情報処理の講座を設定した。

2) 開講講座

(1) 看護研究の基礎知識

第1回 (参加人数:63名)

受付開校式:9:00～

- ・日時:平成15年7月26日(土)9:20～12:20
- ・場所:新潟県立看護大学 第1合同講義室
- ・講師:北川公子 新潟県立看護大学助教授
- ・講義Ⅰ:看護研究の意義と役割

第2回 (参加人数:61名)

- ・日時:平成15年7月27日(日)9:20～12:20
- ・場所:新潟県立看護大学 第1合同講義室
- ・講師:朝倉京子 新潟県立看護大学助教授
- ・講義Ⅱ:看護研究の基礎

第3回 (参加人数:61名)

- ・日時:平成15年7月27日(日)13:00～16:00
- ・場所:新潟県立看護大学 第1合同講義室
- ・講師:朝倉京子 新潟県立看護大学助教授
- ・講義Ⅲ:研究方法の選択 他

(2) 看護英会話夏期セミナー (参加人数:12名)

- ・期日:平成15年8月25日(月)～26日(火)
- ・会場:新潟県立看護大学 LL教室
- ・講師:中村博生 新潟県立看護大学助教授, 山本淳子 新潟県立看護大学講師
- ・内容:看護英会話

(3) 看護情報処理冬期セミナー (参加人数:10名)

- ・期日:第1回 平成15年12月18日(木)～19日(金)
第2回 平成16年1月14日(水)～15日(木)
- ・会場:看護大学情報演習室
- ・講師:橋本明浩 新潟県立看護大学助教授
- 内容:看護情報処理

(4) 看護英会話冬期セミナー (参加人数:43名)

- ・期日:平成16年3月15日(月)～16日(火)
- ・会場:アトリウム長岡

- ・講師: 中村博生 新潟県立看護大学助教授
- ・内容: 看護英会話

3. 出前講座

1) 概要

出前講座では、市町村からの希望を考慮して、学内の教員が専門分野に関する内容を希望のテーマに沿って現地で講演した。

2) 開講講座(内容:市町村名:担当教員名)

- (1) 感染予防と衛生ケア:平成15年6月20日:上越市子ども福祉課:堀良子 新潟県立看護大学助教授
- (2) 糖尿病教室の講義・グループワーク等:平成16年3月10日:豊栄市:酒井禎子新潟県立看護大学講師

4. 研修会支援

1) 概要

地域の研修団体の希望を受け、その研究活動を学内の教員が以下のようなテーマに沿って現地で支援した。

2) 研修会支援(講演テーマ:日時:場所:担当教員名)

- (1) 食生活改善指導推進:平成15年10月16日(木):村松町:吉山直樹 新潟県立看護大学教授

Ⅲ. 総括と今後の展望

一般公開講座の「開学2周年記念講演」は、アンケート提出者の85.5%が「非常に良かった」あるいは「良かった」という回答を示し、具体的な記述では、「まちの保健室」、「今後の看護の方向性」、「看護職の活躍の場」、「訪問看護ステーション」などが好評であった。また、講演の後の対論の場では「参加者の生の意見が聞けた」、「平易な言葉で分かり安かった」、「意見を出せて良かった」などの「講演と対論」形式の評価が高かった。このように参加者が参加できる講演会の形式が身近な話題と相俟って好評を博したものと考える。今後このような講演会を引き続き設定していきたいと考える。「看護とジェンダー」では、関心のある参加者にとっては有意義な講座であった。しかし、コスト効率の問題、社会学的観点の講座を看護大学で行うことの限界、この種の講座への参加者集めの問題が指摘され、今後は看護に係わるタイトルの講座を開講することとした。「エルダリイ・スクール」は、参加人数、講座の内容、運営方法などの点で良好に展開した。特に参加型の講座(トランポビクスなど)では参加者が生き生きと活動しており、さらに発展した講座を開講していく方向が示された。

専門公開講座の「看護研究の基礎知識」は、施設内で看護研究を実践している看護師の方々から有意義な講座であるという評価を受け、また看護研究についての知識が得られたことの有効性を指摘していただいた。また、記念講演に参加できたことも高く評価された。15年度からの懸案であった、「ステップアップコース」(施設で研究を指導できる能力を養うことを目的としたコース)を、このコースを土台として次年度開講することを決定した。「看護情報処理セミナー」では、昨年度の反省を踏まえ1回を2回に増やし参加者のニーズに応えた。また、「看護英会話夏期セミナー」では、少人数でのレッスンが行われ、「看護英会話冬期セミナー」では会場を長岡に移して行われた。長岡での開催は参加者からの要望であったが、参加人数が多かったので次年度も開催することとした。

「出前講座」と「研究会支援」については、市町村の要望と指定された教員との連携の中で実施された。需要と供給のバランスをとることが困難な講座であるが、県民のニーズにできる限り応える方向で今後も実施していきたいと考えている。